

從 3 篇不同類型的日語文章中，學生抽籤朗讀 1 篇

日語類實作題 ~~~ 範例一

こうえん たくさん はな き たくさん こども おおぜい あそ
公園には 沢山 花が あります。木も 沢山 あります。子供は 大勢 遊んで
います。ことり き うえ うた いけ はし か こい
います。小鳥が 木の 上で 歌って います。池には 橋が 掛かって います。鯉が
およ あか こい くる こい
泳いで います。赤い 鯉も 黒い 鯉も います。
む ちゅうがくせい しゃせい おとこ こ おんな こ
向こうで 中学生が 写生を して います。男の 子と 女の 子が ぶらんこ
の おんな ひと そば み こかげ わか だんじょ はな
に 乗って います。女の 人が 側で 見て います。木陰で 若い 男女が 話
して います。こうえん なか あか ひかり
して います。公園の 中は 明るい 光で
いっぱいです。

日語類實作題 ~~~ 範例二

わたし まいあさろくじはん お ちゅうごくご べんきょう はじ ちゅうごくご
私は毎朝六時半に起きます。そして、ラジオの中国語の勉強を始めます。中国語の

はつおん たいへんむずか しちじはん あさはん た
発音は大変難しいです。七時半ごろ、朝ご飯を食べます。

わたし うち こうがい かいしゃ まち まなか うち えき
私の家は郊外にあります。会社は町の真ん中にあります。家から駅

じゅうぶん ある でんしゃ かいしゃ い うち かいしゃ ごじゅうごふんか
まで十分あまり歩きます。そして、電車で会社へ行きます。家から会社まで五十五分掛か
ります。電車はいつも大変込みます。

かいしゃ くじ はじ しごと たいていろくじ お ときどきえき
会社は九時に始まります。仕事は大抵六時に終わります。時々駅から

かえ さんぶん ひやくななじゅうえん か
タクシーで帰ります。三分ぐらいです。百七十円掛かります。

日語類實作題 ~~~ 範例三

ある日、桃太郎は爺様じじさまと婆様ばばさまの前へ来て、きちんと座すわって両手りょうてを付き、「おかげさまで、こんなに大きくなりましたから、鬼が島おに しまへ鬼退治おにたいじに行いってまいります。どうか日本一にほんいちのきび団子だんごを作つくって下ください。」と言いいました。爺様じじさまと婆様ばばさまは、びっくりして止とめましたが、桃太郎はどうしても聞ききません。爺様じじさまと婆様ばばさまは仕方しかたなく、日本一だんごのきび団子だんごを、たくさんこしらえて、腰こしに下さげさせ、新あたらしいはちまきをさせ、新はしいはかまを穿かたなさせ、刀さを挿ささせ、『日本一にほんいちの桃太郎ももたろう』と書かいた旗はたを持たせて、送おくり出だしました。